

経営比較分析表（平成29年度決算）

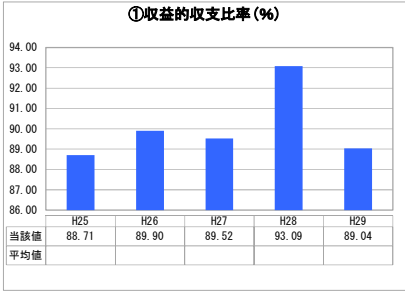
広島県 三次市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.15	100.00	5,292

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
53,204	778.14	68.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,136	0.75	1,514.67

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



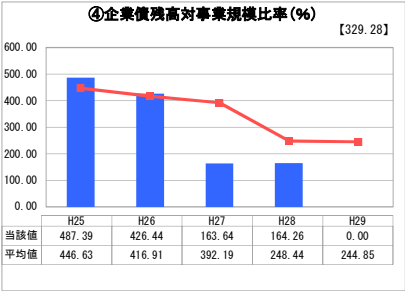
「単年度の収支」



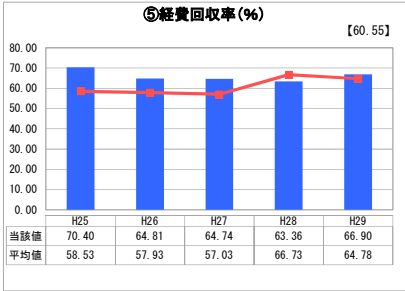
「累積欠損」



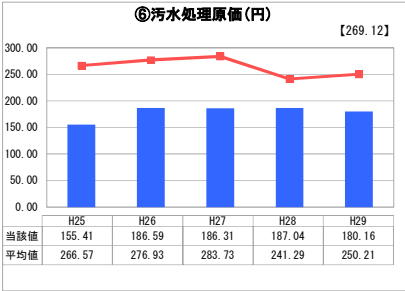
「支払能力」



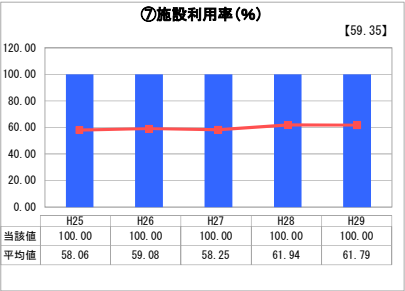
「債務残高」



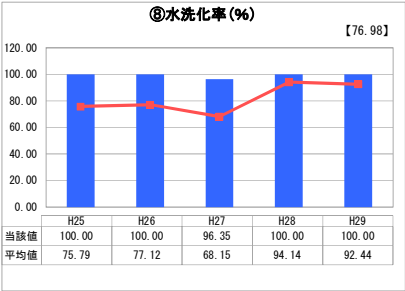
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

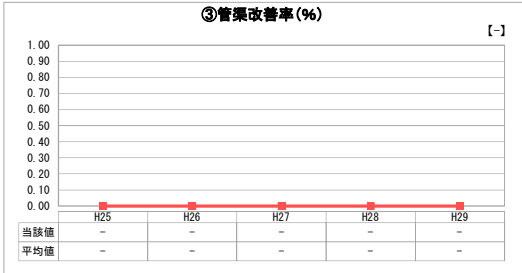
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

●収益的収支比率、企業債残高対事業規模比率
平成29年度の収益的収支比率は89.04%で、昨年度に比べ4.05ポイント低下している。要因は、一般会計からの繰入金が昨年度比約20.8%減少し、総収益が減少したことによるものである。一般会計からの繰入金に依存しているところが大きく、今後は経営改善に努めるとともに、使用料の適正化に努める必要がある。企業債残高対事業規模比率は、企業債残高対事業規模比率は、平成29年度の企業債の償還について、一般会計からの繰入金の充当により0%となっている。

●経費回収率、汚水処理原価

平成29年度の経費回収率は、料金収入の増加と汚水処理費の減少により、昨年度に比べ3.54ポイント上昇している。汚水処理原価は、年間有収水量が減少したが、汚水処理費も減少したことから、昨年に比べ6.88円改善している。今後、浄化槽の更新時期が到来するため、計画的に修繕・更新を進め、経常経費の節減と適正な経費回収に努める。

●施設利用率、水洗化率

施設利用率や水洗化率は平均値に比べ高い数値にある。

2. 老朽化の状況について

平成4年に設置したものが一番古く、今後更新時期が到来するため、ストックマネジメント計画の導入により計画的な更新に努める。

全体総括

今後、人口減少により使用料収入の減少や更新費用の増加が見込まれるため、平成31年度4月からの公営企業会計化移行後は、経常経費の節減に努め、計画的な更新を進めていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。